

「キュウイナイズされていく子どもと 日本人らしさ」

海外子女教育から紹介

現地校が始まり、子どもたちからはほとんど“日本人らしさ”が失われていきます。日本で教育を受けた親とのギャップです。日本スタイルで躰ようとしても、子どもに通じなくなっていることもあります。これは、子どもが身につけた現地の考え方や習慣の違いからくるもので、決して親の言うことを聞かなくなったわけではありません。諦めずにその都度話し合っ、折り合うようにしましょう。

① 子どものしつけ

日本人として、日本式のしつけをしたと思う親と、現地のカルチャーをどんどん吸収していく子ども。この溝を埋めるのはなかなか難しいものです。例えば子どもに、「机の上に腰掛けてはいけません！」と注意しても、「学校の先生は授業中に机に腰掛けて、コーヒーを飲んでるよ！」と応酬されます。学校では、毎日そのような環境にいるのですから、親がどう頑張っても日本式のしつけはどこかに押しやられそうです。

とは言うものの、いつかは日本で生活する子どもたちです。日本式の挨拶やマナーを無視するわけにはいきません。「ありがとう」、「おはよう」、「こんにちは」、「さようなら」、「おやすみなさい」、「いただきます」、「ちそうさま」、「いってきます」、「ただいま」などの基本的な挨拶は必須で

す。家庭で日本語を話す者が根気よく言い続けて見本を見せるようにしましょう。

(子どもの成長につれ、場に応じた挨拶の言葉を増やすことも大切です。㊸)

② 日本の文化習慣の維持

どこの国で生活しても、日本人が自分の国の文化を熟知していないことほど恥ずかしいことはありません。子どものアイデンティティにもかかわることです。異文化の中にあっても、親が素晴らしいと思う日本文化を教えて行きましよう。

お正月、節分、ひな祭り、こどもの日、七夕、七五三などの日本の伝統行事は、できるだけ体験させてあげましょう。親と子が同じ体験をすることで共通の話題ができ、コミュニケーションを良くすることにもつながります。

雑煮やおせち料理、豆まきお雛様、鯉のぼりなど、親にとって当たり前の習慣も、子どもにとっては、大切な体験になるのです。折り紙やあやとり、手遊び歌なども子どもたちは喜んでしょう。

(文化は同じ体験を持つものが多いほど深まります。補習校や日本人社会と協力して、子どもたちに文化体験の場を与えてあげましょう。

文化の体験が多いと、日本語の本や教科書の内容が理解し

やすくなります。㊸)

③ 幼い子どもへの日本語

「タイガー」と言うけど「ら」という言葉は知らない、「行く」と「来る」の使い分けができない、話すことの骨格は日本語、でも、単語は英語を使う等々、NZ生まれの子どもや、幼児期から海外で育っている子どもに多くみられる例です。これから「母語」が育っていくという段階で、その道が閉ざされてしまい、思っていることさえ人に伝えられない子どもも少なくありません。

家庭では、正しい日本語を使い、寝る前に本の読み聞かせをしてあげてください。日本語の視聴覚機器を利用して、人の話を聞く練習に役立てましょう。

(母語をしつかり身につけさせることを第一義としましょう。一言語の場合は、親が、場面と話す人によってきちんと使い分けましょう。㊸)

④ 学習の両立

現地校での学年が上がるにつれ、日本語の勉強を続けることが負担になっていくケースが多いです。

毎日、登校前の30分間を学習の時間に当てると、親も子どもも清々しい気分です。集中できます。子どもにも習慣づけることが必須です。

新しいクラス

新しいクラスがスタートして1ヶ月が立ちました。半年間の年中生活でグループ意識が芽生え、集団活動がより活発になりました。また、授業中は知っている日本語を発表しながら互いに刺激しあって学習しています。

年長では、子どもを取り巻く日本語社会がもう一回り広がるように、担任は授業で様々な工夫を取り入れています。“遊び”は、社会性を身につける大切な場です。集団遊びの中で一人ひとりの声を聞くことに努め、順番で話す・人の話を聞くルールが分かるように指導しています。

《 時間割が変わりました 》

1時間目・・・ 9時45分～10時30分
 休み時間・・・ 10時30分～10時45分
 2時間目・・・ 10時45分～11時25分
 集 会・・・ 11時25分～11時35分



今月の予定

6/7 時の記念日

6/14 焼き芋ピクニック

集会の時にみんなで作った焼き芋を食べます。

6/28 入園説明会と体験入園

10時20分 受付開始(ホール)

10月に入園を希望する保護者対象の説明会です。ひよこ井と日本人会メール通信に広報しますが、幼稚園に興味を持っているお知り合いがいらっしゃいましたら是非お誘い下さい。

(保護者 :15番教室)

- ・幼稚園教育について(園長、主任)
- ・小学校教育との繋がり(校長)
- ・入園手続、授業料等の説明(主事)
- ・保護者会活動について(保護者委員)

(子ども:バックを持ってホール)

・年長クラスと一緒に「体の名前ゲーム」を楽しみます。

持ち物、のりとハサミを毎週持ってきてください

さくら・ひまわり組からのお知らせ

☆ひらがなカード並べが始まりました。

*6月07日 カ行、サ行、タ行

*6月14日 サ行、タ行、ナ行

*6月21日 タ行、ナ行、ハ行

※6月28日 ナ行、ハ行、マ行

*3行たまと前の行を抜きます。

※行ごとに輪ゴムで止めて整理します。

輪ゴムの止め方も練習しましょう!

<じょうずな並べ方>

- ・台紙の右側から縦に並べましょう。
- ・声を出して読みながら並べると、五十音の並びと文字の形を結びつけて覚えられます。
- ・カードを組み合わせて言葉作りをしましょう。
- ・子ども任せにしないで、親子でゲームをやる言葉覚える良い練習になります。

か	あ
き	い
く	う
け	え
こ	お